

秋田市教育委員会
会 議 録

平成 2 5 年 6 月定例会

秋田市教育委員会平成25年6月定例会会議録

- 1 日 時 平成25年6月27日(木)
午後3時30分～午後5時10分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員(教育長)
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
学校教育課教職員室長
教育研究所長
スポーツ振興課長
文化振興室長
生涯学習室長
文化振興室参事
総務課長補佐
学事課長補佐
学校教育課長補佐
生涯学習室長補佐
総務課副参事
総務課主席主査
学校教育課主席主査
総務課主査
総務課主査
学校教育課主査
総務課主事
生涯学習室主事

5 議 題

【付議案件】

議案第19号 秋田市文化財保護審議会委員の委嘱に関する件

【協議事項】

(1) 平成25年度「新成人のつどい」実施方針について

【教育長等の報告】

(1) 平成25年6月補正予算に関する件

(2) 平成25年度教育委員会事務の点検・評価について

(3) 雄和地域の小学校の統廃合について

(4) 平成25年度秋田市いじめ対策委員会について

6 議 事 午後3時30分開会

【平成25年5月定例会会議録の承認】

平成25年5月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第19号 秋田市文化財保護審議会委員の委嘱に関する件

委員長 議案第19号「秋田市文化財保護審議会委員の委嘱に関する件」について、事務局から説明願う。

文化振興室長 (資料に基づき説明)

委員 人選に異議はないが、前任者の任期が5月31日までとなっている。1か月間委員が不在であることに問題はないのか。それとも、間を空けずに任期をつなげる方がよいのか。

文化振興室長 文化財保護審議会は年4回開催を予定しており、1回目は7月の開催を予定している。委員が不在であることに問題はない。

委員 年間を通して、本審議会の申請や認定はどのくらいあるのか。

文化振興室参事 年に2、3件を指定している。

委員 審議会の開催頻度はどうか。

文化振興室参事 年に4回である。

委員長 年4回の開催ということだが、定期に開催するのか。

文化振興室参事 1回目は7月に候補物件を選定し、2回目は9月に候補物件の調査、3回目は11月に候補物件の審議、4回目は2月に諮問、答申を得ている。

委員 年に2、3件指定することだが、例えば、候補にあがっているが先送りにされている物件や却下された物件は、そのように決定した審議会の判断がすべてなのか。また、年に2、3件を指定するとしている理由は何か。

文化振興室参事 指定にあたり調査する必要があるため、時間的制約から年に2、3件となっている。

委員 必ずしも毎年2、3件指定しなくとも、指定に相当する物件を指定すればよいと思う。委員の意見は尊重するべきと思うが、指定物件がなければそれでもよいのではないかと柔軟な対応をしても良いのではないかと。

文化振興室参事 これまで年に2、3件を指定してきたが、所有者の意向や審議が進まなかったことなどから、指定する物件がなかった年もあった。適切な物件を選び、審議していきたい。

議案第19号については、全員賛成により議決された。

【協議事項】

(1) 平成25年度「新成人のつどい」実施方針について

- 委員長 協議事項(1)について、事務局から説明願う。
- 生涯学習室長 (資料に基づき説明)
- 委員 今年の新成人のつどいに保護者として参加した。子どもは、住民票が県外にあり、案内はがきは届かなかったが、友人に誘われて参加した。今回、シャトルバスのアクセスの心配があったが、うまくいっていた。来年もシャトルバスを活用すると思うが、つどいの案内はがきにバスのアクセスについて記載があれば、参加者の間で、ツイッターやフェイスブック等で情報が行き渡ると思う。郵送の際に情報を載せてほしい。
- はばたけ秋田っ子の歌を作った津雲優先生が亡くなったが、今年度成人を迎える子どもたちは、小学校から歌い続けており、校歌より覚えているのではないか。この歌は、小中学生にぴったりの歌だと思う。社会に羽ばたく秋田の子どもたちが大人になっていくという点を表現しているこの歌は、つどいに合っていると思う。今年度のつどいのテーマソングとして使ってもらえれば津雲先生も喜ばれるのではないかと思う。
- 生涯学習室長 シャトルバスは、会場行きの乗車数はそれほど多くなかったが、帰りはある程度の人数だった。今年度は、バスを有効に活用できるようにするとともに、バスのPRも行いたい。また、開会前に会場内において各校の校歌を流しているが、それに加えてはばたけ秋田っ子ソングも流したい。
- 委員 運営協力委員の募集について、公募ではどのくらいの応募があるものか。公募での応募者数が少ない場合、次の方法があると思うがどうか。
- 生涯学習室長 運営協力委員は8名募集しているが、例年応募が少ない。締切り後に、大学や企業を回って推薦をいただいている。昨年は、8名中5名が公募時に手を上げた方だった。残りの3名が学校推薦であった。今年は、8名中4名を公募す

る予定である。ほかの4名は、事前に学校へ推薦依頼を行う予定である。大学生が中心となるが、社会人も委員に入れていきたい。

- 委員 今年度の新成人のつどいに案内する対象者は何人か。
- 生涯学習室長 2,936名を予定している。
- 委員 対象者が3,000名を切ったのは初めてか。
- 生涯学習室長 手持ちの資料は昨年度分しかないが、約2,900名であった。
- 生涯学習室長補佐 平成22年度に、初めて3,000名を切った。
- 委員長 この数字は、参加者数ではなく、対象者数ということでよいのか。
- 生涯学習室長 開催年度の5月31日現在で住民登録をしている対象者数である。住民登録がされていない秋田市出身の方も参加できるので、実際の対象者数は、住民登録している人数より多くなる。
- 委員 会場入口にある新成人のつどいの看板前で、写真を撮る人が多いが、看板を増やすなどしてはどうか。新成人の記念に残る写真を撮るために検討してほしい。
- 生涯学習室長 予算上、看板の増設は難しいが、看板前に職員を配置し、写真撮影がスムーズに行われるよう検討したい。

協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

【教育長等の報告】

(1) 平成25年6月補正予算に関する件について

- 総務課長 (資料に基づき説明)
- 委員 八橋運動公園第2球技場人工芝整備の完成はいつか。
- スポーツ振興課長 11月末の完成を予定している。工期は、8月下旬から11月末までを予定している。
- 委員 使用開始は、来年からになるのか。
- スポーツ振興課長 全天候で使用できるので、積雪がない限りは、年内の使

用開始としたい。

平成25年6月補正予算に関する件についての報告は、以上のとおり終了した。

(2) 平成25年度教育委員会事務の点検・評価について

総務課長 (資料に基づき説明)

委員 これまでの点検・評価報告は、ページが多く、重複する内容もあった。今回このようにまとめてもらったことは良いと思う。点検・評価は、課題改善部分が一番重要である。その部分に配慮して行ってほしい。

総務課長 前回までの報告書は、約150ページあった。学識経験者からも内容や記載方法について、指摘があった。重複する記載に気をつけながら、よりわかりやすい報告書を作成したい。今年度は新教育ビジョンに沿って施策を推進しているので、新教育ビジョンにつながる評価方法で進めたい。

委員 昨年、点検・評価の素案をもらってから締切りまでの時間が短かったと思う。締切りまでの時間に余裕があれば、より多くの意見が言えると思うので、検討してほしい。

総務課長 昨年よりも日程に余裕を持って対応したい。

委員長 資料の1(3)、構成の「評価および課題・改善点」について、「参考」に24年度事業の実績や成果等が記載されるが、の内容がの記述に関連する内容に限定しているとすれば、で、実績や評価について簡潔にとらえてもらわないと、新しい教育ビジョンの課題につながらないと思う。

総務課長 構成の「評価および課題・改善点」は、最も重要なものとしてとらえている。については、これまでは様々な事業実績を掲載していたので、取捨選択し、の評価や課題・改善点につながる実績を掲載して、見やすい構成とし

たい。

平成25年度教育委員会事務の点検・評価についての報告は、以上のとおり終了した。

(3) 雄和地域の小学校の統廃合について

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 統廃合の話がまとまったことは良かったと思う。基本方針の中に、統合の時期は、できるだけ早期とあるが、平成28年4月1日のことととらえてよいのか。例えば、開校準備委員会内の話が早期にまとまり、新校舎が完成する前に、統合を行うことは考えられるのか。

学事課長 統合については、新しい学校を創設することが前提となる。早期に意見がまとまれば平成28年4月1日以前の校舎完成も可能だったが、川添小学校の意見集約が今年度に入ってまとまった。この結果、9月に校舎設計の補正予算を計上し、順調に進めていけば、校舎完成は平成28年4月1日となる。

委員 その時には、校舎は完成しているのか。

学事課長 新校舎に入ることを前提とした基本方針案の集約である。

委員 学校訪問を通じて思ったことであるが、いずれの学校も小規模ながらも、地域の文化を受け継いできたと感じる。学校がなくなるということは、地域の核がなくなることである。たくさんの子どもの中で育てて、競争心のある子どもを育てたいという気持ちは十分理解できる。それと同時に、統廃合で失うものも大きいのではないかと思う。

しかし、地域やPTAが案を協議し、結果が出たことは、地域の意見として大事なことである。統合後は、新しい学校で授業ができるということだけではなく、雄和地域に流れる雄物川を中心とした文化をしっかりと勉強し、雄和地域

の子どもであることを理解できるような指導をしてほしい。これを機会に、川添の山を大正寺の子どもが駆け回ったり、大正寺おけさを種平の子どもたちが踊ったりするなどの交流は喜ばしいことと思う。新しい文化ができる場所として、新しい小学校がスタートとすることを期待している。

学校教育課長 各校の培ってきた教育活動は大事なことととらえている。開校準備委員会で、雄和の学校として、雄和の子どもたちにどのような教育課程を組んでいくかということについて、教育委員会と雄和地域の4小学校、雄和中学校とともに検討する。この指摘は、大変重要なことと考えている。

委員 合併前の旧町村単位で小学校が1校ずつになるという中、県内では旧町村という範囲を超えて合併の話がある。これまで本市では、小学校の統廃合について、再編計画に基づき行ってきたが、今後の学校配置については、改めて再編整備の話があるのか、それともこの雄和の統合で一区切りとなるのか。今後の予測を知らせてほしい。

学事課長 平成24年7月に策定した基本方針は、住民基本台帳の数字を基本として、社会増がないと仮定し推移させているものである。故に、雄和地域の将来を考えての推計は難しい。教育委員会としては、今後も住民基本台帳の傾向をとらえ、配置の適正化を考えたい。

委員 意見および要望事項にある4小学校PTAの要望は、この内容で出されたのか。それとも、例えばスクールバスの運行でいえば、より具体的な要望などはあったのか。

学事課長 具体的な話はなかったが、小学校のあり方を考える会の報告を5月29日の雄和地域審議会に行ったときに、雄和マイタウンバスをスクールバスに活用できないかという話があった。各小学校、自治会連合会からは、文書での意見はなかった。

委員長 地元の保護者や関係者が23年度から会を開き、さらに地元の要望も取り入れて進めていることについては、今後

もこれまでのように進めていく必要があると思う。これまでの協議経過の中で、雄和地域審議会や雄和地域の小学校のあり方を考える会、雄和自治会連合会、これからは開校準備委員会というように複数の組織があるが、これらの会のメンバーはそれぞれ異なっているのか。それとも、重複してメンバーに入っている方はいるのか教えてほしい。

学事課長

地区関係者として、自治会長に依頼しているので重複する人もいる。どの方が地域審議会に入っているかは把握していない。また、PTAや保育所関係者は、若い方をメンバーに入れており、地域審議会のメンバーと重複していない。

地域審議会は法律で決められた機関で、メンバーは、この4月から2年間指名された方である。また、小学校のあり方を考える会は、すべての団体が合意したので、解散した。新しく設ける開校準備委員会は、地域の方がメンバーとなるので、地域審議会のメンバーやPTAの方もメンバーに入ると思う。開校準備委員会で審議した事項は、地域審議会に報告し、意見をいただくこととしている。

委員長

PTAのメンバーは毎年交代する、地域審議会のメンバーも2年に1回交代するということであれば、様々な会で同じ方が意見を述べることにならないか。

学事課長

同じ方をメンバーに入れることは考えていない。ただし、開校準備委員会には、地域審議会のメンバーを入れたいと考えている。

委員

開校準備に向けて、新しい学校は通学範囲が広く、子どもによってはかなりの通学距離になると思う。地域の要望も多いと思うが、教育効果を上げる統合なので、住民の意向に留意して進めてほしい。

学事課長

スクールバスについては心配されているので、心配をかけないように進めたい。これまでは、規模の大きい学校に規模の小さい学校を統合していたが、今回は、比較的規模

の大きい川添小学校の子どももスクールバスの対象になる場合がある。しっかり調査し、計画を立てて進めていきたい。

雄和地域の小学校の統廃合についての報告は、以上のとおり終了した。

(4) 平成25年度秋田市いじめ対策委員会について

- 学校教育課長 (資料に基づき説明)
- 委員 これまで助言をもらったケースはあったか。
- 学校教育課長 昨年度の2月に1回目の委員会を開催してからは、臨時的な招集事案などはない。
- 委員 全国のいじめ調査に関連して、他県で100名を超す教職員が処分を受けたと新聞を見た。本県でもそのような事案と対応した動きはあるのか。
- 学校教育課長 他県の内容については把握していないが、体罰についてはあった。いじめの対応について、教員が処分されたという例は県内にはない。
- 委員 体罰についてはどうか。
- 学校教育課長 体罰調査で判明した件について、県の処分はあった。
- 教職員室長 本市では、体罰調査の結果、小学校で3件、中学校で3件、高校で1件の事案があった。これらについては、県教育委員会に報告し、懲戒処分対象には当たらなかったが、市教育委員会として、本人および校長を指導した。

平成25年度秋田市いじめ対策委員会についての報告は、以上のとおり終了した。

【その他、事務局から】

(1) 平成25年6月市議会定例会の審議状況について

総務課長 (教育産業委員会で審議された議案、請願、その他報告について内容を報告)

(2) 仁井田小学校の集団欠席について

学事課長 (5月に発生した仁井田小学校の集団欠席についてのてん末を資料に基づき報告)

委員 感染経路はわからないのか。

学事課長 保健所にも確認したが、原因はわからないとのことだった。

(3) 泉中学校の動画投稿等について

学校教育課長 (泉中学校の生徒や教職員の安全を脅かす内容が動画投稿サイト等に投稿された件について、資料に基づき報告)

委員 体罰を行ったと名指しされた教員と校長が、警察に被害届を出したとのことだが、捜査状況は、この2名にしか伝えられないと思うので、情報はこの2名から得ることになると思う。また、その行為を行ったものが、学区外の者や卒業生、生徒ということが考えられるが、生徒の場合は、家庭裁判所で取り扱うことになると思う。その際は、環境の調整という面から、学校に戻るため、校長、担任、保護者の連携が必要と思う。その点を見据えて対応してほしい。

学校教育課長 行為を行った者はわからないが、状況に応じた対応を行いたい。

(4) 秋田県市町村教育委員会連合会の役員改選について

総務課長 (5月23日に総会が開催され、委員長が平成25年度の連合会会長に就任した旨を報告)

(5) 7月の教育委員会関連行事予定について

総務課長 (7月の行事予定について、資料に基づき報告)

(6) 野菜裁断機の業者点検について

学事課長 (野菜裁断機の部品が混入した際に、製造業者に連絡は行っていない。機械の老朽化や使用前の点検誤りがあったことが原因であり、連絡はしなかったことを説明)

委員 連絡をしていないことはわかったが、事故後も全国で同様の事例が発生している。ご飯に蛾が混入したという事例はヒューマンエラーとなるが、システムエラーは製造業者に連絡することで、その後の素材開発という面から業者も考えていくと思う。それにより、裁断機の全体的な安全性が高まることから、連絡をとった方がよい。

16年経過した機械は、別の部分に不具合が生じる可能性がある。連絡することによって、今後の製造業者の技術向上に資することになると思う。今からでも連絡すべきと考える。

学事課長 機器納入業者には連絡しているが、納入業者が製造業者に連絡していたかを確認する。市の対応として、今回の事故の後、点検・修理を依頼している。この夏休みまでに点検・修理を終える予定である。

委員 16年経過した機械の製造責任を業者に求めるのは厳しいが、納入業者や製造業者に連絡することで、業者の何らかの対応があるのではないか。このような問題が起きていることを業者に伝えることは、企業の社会的責任の面からも必要と考える。

学事課長 業者に連絡をとりたい。

【その他、委員から】

- 委員 秋のデスティネーションキャンペーンの関係で、JR東日本「大人の休日倶楽部ミドル」の取材を受けた。新県立美術館を核にした新たなまちづくりというテーマだった。千秋美術館と赤れんが郷土館も取材を受けたと聞いたが、文化振興室はそのことを把握しているか。市の観光資源があまり多くない中で、教育委員会管轄の2つの施設について、この倶楽部に入会している50万人の会員が記事を目にすることは喜ばしいことである。記事を見た会員が赤れんが郷土館や千秋美術館を訪れることを期待している。迎える側は、しっかりとおもてなしをしてほしい。
- 文化振興室長 取材を受けたことを把握していなかったので、確認を取り、市の施設の連携を深めていきたい。
- 委員 4月からのパスポートの売れ行きはどうか。
- 文化振興室長 資料が手元にないため、後日報告する。
- 委員 6月市議会の食育に関する答弁で、食の大切さに対する意識や望ましい食習慣に関するアンケート調査を行うとあったが、いつ頃、どのくらいの範囲を対象に行うのか。
- 学校教育課長 子どもの意識や朝食の摂取状況などの項目を含めて、総合的な調査を行いたい。毎年度調査し、経年比較できるようにしたいと考えている。アンケートの内容についてもこれから十分検討したい。
- 委員 小中学校の全てを対象とするのか。
- 学校教育課長 全校対象か抽出調査にするかも検討したい。
- 委員 市の中学校総合体育大会開会式は雨だったが、生徒たちは元気にやっていた。サッカー競技を観戦したが、芝の上で、思い切ったプレーをしていたし、実力差も現れていた。
- 試合において、次にラグビーの試合をするためかもしれないが、フィールドにラインが引かれておらず、以前の試合のラインがうっすら残っているという状況があった。プレー中、ゴールキーパーがラグビー用のラインまで出て、ボールをキャッチしたが、審判は気づかなかった。競って

いる試合だと大変なことになる。子どもたちには、ラインの状況も含めて、整った環境でプレーさせたい。何らかの工夫をお願いしたい。

委員長 中学校総合体育大会開会式について、準備にあたった関係者は当日の天候に悩みながら、開催を決行したと思う。開会式を行進した中学生の表情はさわやかで、心に残る開会式であった。中学生の心意気を感じた。大会運営者の開会式を決行した判断も良かったと思う。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 教育委員会 7月定例会は、7月25日(木)午後3時30分からを予定している。

午後5時10分閉会

以 上